

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	新規生理活性物質生産株の超ハイスループットスクリーニングプラットフォーム構築
研究代表者	竹山 春子 (早稲田大学・理工学術院・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、微生物が生産する創薬リード化合物である二次代謝産物を、ラマンスペクトル解析とマイクロフローシステムを組み合わせ、ハイスループットにスクリーニングしていくことを可能にする独創的な研究である。応募者の研究業績は国際的にも高く評価されており、難培養性微生物の医療応用も含めて、十分な研究成果を上げることが期待される。また、ラマンスペクトルデータベースの構築は、今後、他の研究分野への波及効果も高く、世界をリードできる可能性がある。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>